

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和3年9月20日号

夏休み！親子ボランティア体験教室 ～ 情報を伝える聴導犬 ～



8月1日(日)、いきいきふれあいセンターを会場に、那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター主催の「令和3年度 夏休み！親子ボランティア体験教室」を開催しました。

この教室は、障がい者への理解を深め、共生のまちづくりを促進させることを目的として令和元年度に始まったものですが、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できず、今年で2回目の開催となりました。今回は、日本聴導犬推進協会の水越みゆき事務局長を講師に招き、市内の4～6年生の小学生とその保護者約40名が参加し、聴導犬について学びました。

聴導犬は、補助犬の一種で、耳の不自由な人に代わって音を聞き分け、知らせます。講話では、耳が聞こえないということや耳の不自由な人が困っていること、候補犬が聴導犬になるまで、聴導犬の仕事と役割などについて紹介しました。その後、ラブラドルのPR犬ヒマワリによるデモンストレーションが行われ、訓練の様子や目覚まし時計の音が鳴り、それを知らせて起こすという実演を見せてくれました。

参加した児童からは、「聴導犬の仕事や聴導犬になるまでの訓練がよくわかった」「家族や学校の友達にも聴導犬のことを教えてあげたい」などの感想があり、保護者からは、「参加でき、色々感じる事ができた」「誰かを笑顔にできるボランティアを心掛けたい」などの感想がありました。



▲ PR犬のヒマワリ

オンラインボランティア活動はじめました 7月開催Zoom演奏会♪

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高齢者施設等を訪問して楽器の演奏やダンス、手品などを披露するボランティア活動が難しい状況にあります。そこで、ボランティアセンターでは、コロナ禍でもできるボランティア活動として、オンラインで施設とボランティアをつなぐオンラインボランティア活動を始めました。

今回は、ボランティアセンター本所と栃の実荘をオンライン（Zoom）でつないだ、「なすの三線さんしんの会」と「黒磯ハモニカ会」の演奏会の様子をご紹介します。



第1弾「なすの三線の会」



7月12日（月）、ボランティアセンター本所と栃の実荘をオンラインでつなぎ、「なすの三線の会」のメンバー3名が演奏会を行いました。

この日は、「安里屋あさとやユンタ」「花」「赤田あかた首里殿内」「十九の春」「涙そうそう」「ふるさと」「島唄」の7曲を演奏しました。聴いている皆さんは、普段なかなか耳にすることのない沖縄民謡やわらべ歌の三線の演奏を、手拍子を打ちながら聴いていました。また、3曲目に演奏した「赤田首里殿内」では、手遊びを取り入れて一緒に体を動かしながら楽しんでいただきました。「ふるさと」は知っている方も多く、歌を口ずさみながら聴いている姿も見られました。

約30分間の演奏会でしたが、沖縄にいる気分を味わってもらうことができましたと思います。



第2弾「黒磯ハモニカ会」



7月14日（水）、ボランティアセンター本所と栃の実荘をオンラインでつなぎ、ハーモニカの演奏会を行いました。今回は、「黒磯ハモニカ会」のメンバーのうち2名の方が、約30分間、計10曲を演奏しました。

久しぶりの活動であったため少し緊張した様子でしたが、栃の実荘の皆さんと、画面を通じて楽しむことができた演奏会になりました。



▲演奏を楽しむ栃の実荘の皆さん

演奏曲は、「北上夜曲」「丘を越えて」「赤い靴」「荒城の月」甲子園の大会歌である「栄冠は君に輝く」「たなばたさま」など、聴く方の世代に合わせた選曲で、懐かしさを感じさせる曲や馴染み深い曲などを披露しました。

演奏をする前には、「赤い靴」は、悲しい実話を基にした曲、「北上夜曲」は、青春の初恋をテーマにした曲、などといった曲のエピソードを紹介し、より深く演奏を楽しむことができました。

栃の実荘の皆さんは、手拍子を打ったり、頭をゆっくりゆらしリズムを取りながらじっくり演奏を聴いていました。新しい試みでしたが、演奏や会話が途中で途切れることもなく、スムーズに行うことができました。



▲左下のテレビ画面には、双方の様子が映し出され会話をすることもできます。



▲ハーモニカ2本を使って演奏！



▲ソロで演奏



今回、新しい試みとして行ったオンラインボランティア活動でしたが、2回の演奏会を終え、栃の実荘の職員の方は、「久しぶりに外部の方と交流することができ、皆さんとても喜ばれていました。また、オンライン演奏会をお願いしたいです」と話していました。

募集中!

オンラインボランティア活動の参加者募集!
～コロナ禍でもつながりを絶やさないために～

オンラインボランティアの依頼や詳しい話を聞いてみたいボランティアの皆さん、福祉施設職員の皆さん、お気軽にボランティアセンターへご相談ください。

オンライン（Zoom）のやり方がわからなくても大丈夫です。ボランティアセンターが、お手伝いいたします。





三味線津軽会 演奏会



待ちに待ったボランティア活動

7月16日(金)、那須町伊王野支所の講座「年輪学級」で、当ボランティアセンター登録団体「三味線津軽会」の演奏会が行われました。演奏者は4名、参加者は約40名。演奏曲は、14曲で、途中10分程度の休憩をはさみながら、約1時間活動しました。

4名で一斉に弾く三味線の演奏は、とても迫力があり、美しい和の音色を奏でていました。また、自分で作曲し、作った人が一人で披露する「曲弾き」や置き太鼓を交えての演奏、三味線の演奏に合わせて民謡を歌うなど、三味線のための演奏だけでなく、バラエティーに富んだ内容になっていました。



▲全員で津軽三味線を演奏



▲演奏に合わせて歌を歌っている場面

歌った民謡は、「ソーラン節」や「弥三郎節」「那須音頭」など、計6曲。「弥三郎節」の歌紹介の中で、「この歌は、嫁いびりの歌です」と紹介されると笑いが起きる一幕がありました。最後は、那須町の民謡である那須音頭が披露されました。那須町での演奏会ということで、津軽会の皆さんは、この日のために一生懸命、歌と演奏を練習をしてきました。地元の民謡のため、参加者にとっても喜ばれました。参加者には歌詞カードが配られ、皆さん一緒に楽しく歌われていました。

なんと2年半ぶりのボランティア活動となりましたが、全くブランクを感じさせない素晴らしい演奏会でした。

ある参加者は、「生で聴けて良かった」「雰囲気良く、楽しかった」と話してくれました。



▲歌を歌っている場面パート2



▲曲弾き場面

※那須町ではマスクを着用すれば、歌を歌っても大丈夫ということになっていました。(令和3年7月時点)



わんぱく寺子屋 開講!



黒磯駅前活性化委員会とNPO 法人那須フロンティアが、まちなか交流センター くるる にて7月28日～30日と8月4日～6日の各3日間、「わんぱく寺子屋」を開催しました。参加対象者は、黒磯小学校の1～4年生で、午前はそれぞれ宿題をして、午後は工作等の活動を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間を7月と8月の2回に分けて実施しました。

毎回午後の活動内容は異なり、7月29日(木)はペットボトルと風船を使ったペットボトル空気砲作りでした。こどもたちは、国際医療福祉大学の学生ボランティアと一緒に、個性溢れるデザインのペットボトル空気砲を楽しく作りました。最後にペットボトル空気砲で、数字の書かれた紙を倒し得点を競い合う的当てゲームを行い、大盛り上がりでした。



わいわい文庫体験会 開催!

8月7日(土)、那須塩原市図書館みるるにて「アイサポート那須」*が、わいわい文庫体験会を開催しました。「わいわい文庫」とは、発達障害、視覚障害など、さまざまな障害により、本を読むことが困難なこどもたちのために作られた電子書籍です。この電子書籍は、マルチメディアデイジーとも呼ばれ、専用のディスクをパソコンに取り込み、絵と文字、音声によって本を楽しむことができます。また、パソコンのみならず、ipad でも見るすることができます。ディスクに収録されている本は、「おおきなかぶ」「どろんこハリー」といった絵本や乗り物図鑑、京都の仏閣を紹介する高学年向けの内容の本など、多種多様な本が揃えてあります。

わいわい文庫体験をとおして、幅広い世代の方に、障害に関する理解やマルチメディアデイジー、読書困難者に対する支援について知ってもらう良い機会になりました。また、体験したこどもたちは、珍しい読書の仕方を楽しんでいました。みるる2階にディスクが置いてありますので、興味のある方は、ぜひ体験してみてください。

※視覚障がい者の読み書き支援、読書困難児者、ディスレクシア等の支援、マルチメディアデイジーの普及に取り組んでいるボランティア団体です。



▲音声で読み上げているフレーズを色で表してくれます



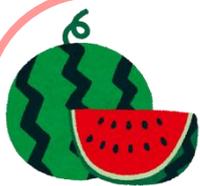
▲わいわい文庫のディスク



▲パソコンを使って体験!



▲ipad を使って体験!



読み聞かせボランティア「まほうのとびら」 お話し会でパネルシアターと大型絵本！



西那須野図書館で読み聞かせを行っているボランティア団体「まほうのとびら」は、新型コロナウイルスの感染拡大以来、その活動を自粛してきましたが、8月7日（土）に開催された「西那須野図書館こどもまつり」で、久しぶりの活動となるお話し会を行いました。午後2時から約30分間、パネルシアター2作品と大型絵本1冊の読み聞かせを行い、来館したこどもたちを楽しませました。



まず初めに披露したのは、「ねずみのよめいり」のパネルシアター。5名で物語を読み、登場してくるネズミや太陽、雲、風などの温かみのある手作りのパネル人形にこどもたちは釘付けになっていました。

次に披露したパネルシアターは、「ぼんたのじどうはんばいき」。こどもたちの反応を見ながら、4名で物語を読み、子ダヌキぼんたの自動販売機に、ライオンやキツネ、サル、女の子のタヌキが来て、葉っぱを入れて欲しい物を頼むと、王冠やネックレスなどが次々と出てくる演出にこどもたちはすっかり引き込まれていました。



最後に、「ともだちや」というタイトルの大型絵本の読み聞かせを行い、この日のお話し会は終了しました。

「まほうのとびら」代表の斉藤三重子さんは、「コロナはまだ収束していないが、今日をきっかけに少しずつ活動を再開していきたい」と意欲をみせていました。



※撮影時のみマスクを外しています



「みちくさの会」国土交通省関東地方整備局長表彰受賞!

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動を推進しています。この月間の一環として、道路愛護団体等の育成強化を図り、あわせて道路愛護思想等の普及を図ることを目的に、歩道などの清掃、花壇の管理などの道路美化・清掃活動に功績のあった民間の団体に対して、感謝の意を表して感謝状を贈り表彰しています。

この度、長年にわたり美化活動に貢献された道路愛護団体として、「みちくさの会」が、感謝状の贈呈を受けられました。「みちくさの会」は、平成23年から那須塩原市鍋掛の鍋掛豊浦交差点の花壇の清掃及び緑化活動を実施しています。例年であれば表彰式が開催されていますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、また受賞される方の健康と安全に配慮し、表彰式に代えて、国土交通省の職員が、感謝状を届けました。



▲8月25日(水) 感謝状を受ける若松会長



▲「みちくさの会」が管理する花壇



おらせ

那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター主催



傾聴講座



「傾聴」とは、相手の心に寄り添い話を聴くことです。様々な場面での傾聴の方法を学ぶことで、基礎知識となるだけでなく、地域活動やボランティア活動、家庭、ご近所づきあいなど、生活の中でも役立つ講座です。

あなたも聞き上手になりませんか？

- 【日程】 11月24日(水)・12月1日(水)・12月8日(水) 全3回
- 【時間】 午後1時～午後3時
- 【会場】 いきいきふれあいセンター 視聴覚室(那須塩原市桜町1-5)
- 【対象】 那須塩原市民で、地域活動やボランティア活動を始めたい方、傾聴に興味関心のある方
- 【定員】 20名(先着順)
- 【参加費】 無料
- 【受付期間】 11月2日(火)～11月12日(金)
- 【申込方法】 下記の申込先まで、電話または来所にてお申し込みください。

【講師】 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 県北支部 顧問 新江侃 氏

つよし



「聞き上手でよい人間関係を」

～傾聴スキルを学んで傾聴力を身に付ける～

申込先
(お問合せ先)

那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター本所
(那須塩原市南郷屋5-163 健康長寿センター内)
TEL : 0287-47-6700 FAX : 0287-47-6690
受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝除く)

★★★収集物報告★★★

皆さまからお預かりしました「プルタブ」を、次のとおり寄付いたしましたのでご報告いたします。
【令和3年6月～8月収集分】 5. 25kg ※障害者福祉施設に寄付し、施設の活動に役立てられています。
ご協力ありがとうございました

ボランティア相談コーナー

取材に来てもらいたい時は・・・？

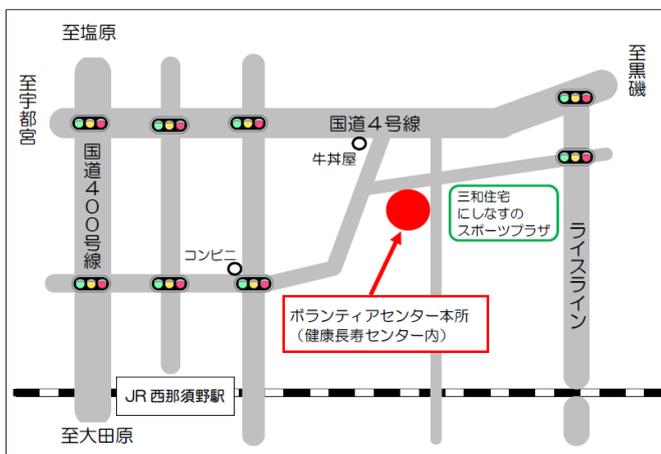


Q 新型コロナウイルス感染防止対策として、ボランティア活動を休止していましたが、活動を再開することにしました。活動の励みにするため取材に来てもらえませんか？

A ボランティアセンターでは、奇数月の20日にボランティアセンター情報誌を発行し、取材させていただいた活動などを掲載しています。また、随時ボランティアセンター壁新聞を作成し、ボランティアセンター内に掲示や社会福祉協議会のホームページに掲載しています。

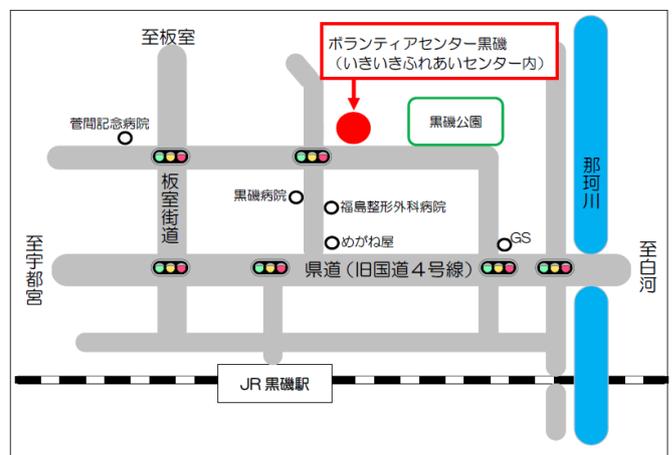
個人・団体の活動の紹介や会員募集、イベントの情報を掲載したいなどのご相談は、お気軽にお近くのボランティアセンターへご相談ください。ご連絡お待ちしております。

【ボランティアセンター本所】



住所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
電話：0287-47-6700
FAX：0287-47-6690
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内
電話：0287-73-0073
FAX：0287-73-0073
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

7月	イベント	3件	8人	8月	イベント	1件	4人
	託児	0件	0人		託児	0件	0人
その他	0件	0人	その他	0件	0人		
合計	3件	8人	合計	1件	4人		

ボランティア登録数（8月31日現在）

団体	個人
123団体（非公開含む）	82人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター本所 TEL：0287-47-6700 FAX：0287-47-6690
〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163（健康長寿センター内）
Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp
ホームページアドレス：http://ns-shakyou.jp/
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

